

政策の風『りんどう』

第2号 発行 令和2年9月15日




記録的な大雨で冠水した熊本県人吉市街＝4日午後 [時事通信ヘリコプターより]

7月4日未明から朝にかけて、熊本県南部では局地的に猛烈な雨が降り、気象庁は4日4時50分に大雨特別警報を熊本県に対して発表した。その後各地で河川の氾濫や土砂災害がおき、甚大な被害をもたらした。特に、球磨川の氾濫は、人吉市内へと水が押し寄せ、広い範囲で床上浸水などが発生している。9月4日現在、死者65名、行方不明2名となっている。



翌日の人吉市内の様子 (役員撮影)

令和2年7月豪雨災害 県南を中心に連盟会員にも大きな被害



ご挨拶

今年は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い連盟会員の皆様におかれましても、感染対策・過剰報道による県民の診療自粛等により多大なるご心配、ご負担があったこと存じます。更に7月九州南部豪雨災害が発生し診療所等が被災されました会員の先生方に対しましては、心よりお見舞い申し上げます。今後も診療所復旧のための補助金給付などにつきまして議員の先生方、行政に対して早期復旧が実現できるようにコロナ対策と併せて要望してまいります。

今回の豪雨災害では、人吉市、芦北町、八代市坂本町の熊本県歯科医師連盟会員が被災され、全壊5件、大規模半壊1件、そのほか床上浸水8件という被害状況でした。9月4日現在も、診療が再開できていない会員もいらっしゃる状況ですが、被災地の避難所における歯科支援活動にも、ご尽力いただき、頭が下がる思いです。今回連盟からは、被災会員に対して連盟会費の免除を決定しました。また、今回、県選出の国会議員や県議などの強い働きかけもあり、「なりわい再建補助金（新グループ補助金）」の活用が可能となりました。申請事務をユース行政書士法人に業務委託し、業務報酬の一部について本会と共に負担し、会員の復旧を支援していきます。

骨太方針 2020 に歯科に関する記載が継続して示される

歯科に関するこれまでの内容が維持され、それが「新たな日常」の中で示されたことを高く評価

令和2年7月17日、「経済財政運営と改革の基本方針 2020～危機の克服、そして新しい未来へ～」(骨太方針 2020) が経済財政諮問会議での答申を経て、閣議決定されました。

日本歯科医師会として、新たな骨太の方針には「骨太の方針 2017 以来、歯科医療の重要性について示してきた内容と方向性を継続して示すこと」および「新型コロナウイルス感染症を踏まえての新たな日常の中に、感染症予防対策としての口腔健康管理を含む歯科保健医療の役割を位置づけること」等を提案してきましたが、骨太の方針 2020 では全体のボリュームが、これまでの半以下に整理され、社会保障関連部分も 1/3 程度になる中で、歯科に関するこれまでの内容が維持され、それが「新たな日常」の中で示されたことを高く評価しています。

骨太方針 2020

細菌性やウイルス性の疾患の予防という観点も含め、口腔の健康と全身の健康の関連性を更に検証し、エビデンスの国民への適切な情報提供、生涯を通じた歯科健診、フレイル対策・重症化予防にもつながる歯科医師、歯科衛生士による歯科口腔保健の充実、歯科医療専門職間、医科歯科、介護、障害福祉関係機関との連携を推進し、歯科保健医療提供体制の構築と強化に取り組む。

骨太方針 2019

口腔の健康は全身の健康にもつながることからエビデンスの信頼性を向上させつつ、国民への適切な情報提供、生涯を通じた歯科健診、フレイル対策にもつながる歯科医師、歯科衛生士による口腔健康管理など歯科口腔保健の充実、入院患者等への口腔機能管理などの医科歯科連携に加え、介護、障害福祉関係機関との連携を含む歯科保健医療提供体制の構築に取り組む。

「新たな日常」では、感染防止と口腔健康管理にいつそう目を向けた歯科医療提供が必要となります。「臨床現場における感染防止」については、新型コロナウイルス感染の発生から少なくとも半年間、歯科治療を通じての感染拡大の事例報告がないことも含めて、感染防御対策の効果やコストも検証し、今後の流行に備える必要がある。としています。歯科界は丸となって世界危機克服に向けて、新たな日常の中で新しい歯科医療提供体制を構築し貢献していかなければなりません。

令和2年7月豪雨災害で被害にあわれた連盟会員の先生方にお見舞いを申し上げます。1日も早い復旧を願っております。(熊本県歯科医師連盟役員・職員一同)

野田毅衆議院議員来館

野田毅衆議院議員との意見交換

8月19日（水）午後4時より県歯会館において、野田毅衆議院議員と伊藤会長との面談があり、新型コロナウイルス感染症対策や令和2年7月豪雨災害からの復旧復興に関して意見交換が行われました。面談では、伊藤会長が次のような要望をお伝えしました。

コロナウイルス対策関連 ①医療休業に対する持続化給付金や家賃支援給付金の拡充、②これらの給付金を課税対象から除外すること、③歯科衛生用品の流通経路確保と備蓄体制の強化、④集団健診の相次ぐ中止に伴う、診療所での個別健診への移行、⑤ウェブ会議の導入に伴うIT化への助成、⑥高齢者の健康維持や生活不活発病に係る

啓発事業の講演会が開催できないため、メディアを利用した事業への助成、⑦診療報酬における感染防止対策費の見直し

豪雨災害関連で、なりわい再建補助金の手続き簡素化と申請委託費の補助。

野田議員は、平成28年の熊本地震の折には、復旧事業の予算確保や、「中小企業等グループ補助金」の大胆な活用などを実現されました。また、この度の豪雨災害では、自民党本部の災害対策本部に参加され、被災者の生活と生業の再建に向けて緊急に対応すべき施策として、なりわい再建補助金や持続化給付金などの速やかな実施にご尽力されました。

野田議員からは、「歯と口腔の疾患はさまざまな全身疾患と関連している。骨太方針2020の方針に沿って、歯科保健医療提供体制の構築と強化のため頑張りたい。」「県民の健康と安心につなげるため、歯科医療体制の確保および支援策の構築に向けて全力を尽くす。」と述べられました。



2022年7月実施予定の第26回参議院議員比例代表選挙へ

熊本県歯科医師連盟は、山田宏参議院議員を日歯連盟へ推薦

日歯連盟では推薦候補者選出のための選考委員会が設置

全国で3名の推薦候補者が挙がる



山田宏
自由民主党 参議院議員
参議院自由民主党 副幹事長

今年6月開催の日歯連盟評議員会において、2022年7月実施予定の第26回参議院議員比例代表選挙について、日歯連盟から候補者を擁立し選挙に臨むことが決定され、推薦候補者選出のための選考委員会が設置された。

その後、日歯連盟より各都道府県歯連盟へ、選考委員会で候補者を選出するにあたり、各都道府県歯連盟からの候補者推薦のお願いがあった。

これを受け、本連盟理事会にて慎重に協議した結果、日歯連盟へ推薦する候補者を山田宏参議院議員として、日歯連盟へ推薦書を提出した。

現在、熊本県をはじめとして全国8都県から山田宏氏、東京都より、西村雅美氏（東京都会員）、神奈川県より萩原鉄也氏（神奈川県会員）が推薦されている。

なお、今後は、選考委員会で各都道府県歯連盟からの推薦書をもとに候補者選出が行われ、令和3年3月頃までに日歯連盟評議員会で決定する予定。

令和2年度臨時評議員会

6月20日（土）午後3時30分より県歯会館において、令和2年度臨時評議員会を開催し、令和元年度熊本県歯科医師連盟会計収入支出決算（案）、令和元年度熊本県歯科医師連盟積立金収入支出決算（案）について審議を行い、すべてを承認可決しました。（コロナウイルス対策のため、出来るだけ短時間かつ出席者の間隔を空けて開催しました）

評議員会は牧副会長の開会の辞に始まり、渡辺議長、吉永副議長のもと進行しました。伊藤会長は冒頭の挨拶で、「まずもって今回の新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた国民の皆様方のご冥福をお祈りします。会員の先生方も、来院患者減により、歯科医院経営へ甚大な影響を及ぼしていると存じます。我々も、テレビ等で県民に情報提供を行うなど、できる限り対応しています。また、本日は前川自民党県連会長にお越しいただきました。前川会長には、コロナ関連で様々な要望をしましたが、これはやはり自民党の皆様との日頃の良好な信頼関係が大切です。今後もこの関係は、我々がやり通したい歯科医療を進める上でも重要ですので、各都市においてもご理解賜りますようお願いいたします。」と述べました。



引き続き来賓として、前川収自由民主党熊本県支部連合会会長がご挨拶で、「まずは3月の熊本県知事選挙では県歯連盟の皆様にはご推薦と全面的ご支援をいただき、感謝申し上げます。コロナウイルスでは、感染症対応従事者慰労金において、医療関係機関に歯科が該当するの非常に気になり、金子恭之党政調会長代理にはしっかり確認いただき、該当すると回答を得てすぐ伊藤会長にご報告しました。今後は日常の経済活動に戻るよう皆様のご協力をいただきながら共に歩んでいきたいと思っております。」と述べられました。続く日歯連盟理事長挨拶で浦田理事長が、金銀パラジウムの7月改定、コロナウイルスへの日歯連盟の対応について報告された後、祝電披露、議事録署名人指名、物故連盟員に対する黙祷が行われました。

◇事前質問

熊本市・高松予備評議員より、「今年度の県歯連盟地域政治活動助成費（各都市支部へ年2回、各4万円を支給）について、熊本市は会員数や議員数などで活動も多くなるため、いま一つ捻出をご検討いただきたい。」との質問に対し、牛島理事長が「拠出できる総額があり、会員数で按分すると都市によっては助成額が僅かになり、また、熊本市だけ議員数が出ているわけではなく、各都市へ公平に分配できる形にしています。助成は毎年見直し、できる限り活動をご支援したいと考えています。」と答弁しました。

議事

第1号議案：令和元年度熊本県歯科医師連盟会計収入支出決算（案）、第2号議案：令和元年度熊本県歯科医師連盟積立金収入支出決算（案）

各議案の議決がそれぞれ行われ、すべて賛成多数で原案通り承認可決しました。

報告

庶務報告、会計報告、監査報告、日歯連盟報告

連盟会員の皆様のご意見を募集しています。

連盟活動に関する、ご要望やご意見は

熊本県歯科医師連盟まで

renmei@kuma8020.com